

## 2014年3月 定例会 報告書

テーマ 『振り返りを振り返る』

日時： 2014年3月1日（度） 13:00-17:00

場所： ちえりあ

話題提供者： チーム『ふりかえら〜』

まあみ（関西支部）、ちい（中部支部）

コーディネーター： アカネ、おやぶん

参加者： 27名（会員11名、運営委員会14名、非会員2名）

### 1. 目的

体験学習で振り返りの仕方を学ぶ。振り返りを上手に進めるためのコツをつかむ。

### 2. タイムライン

13:00 開会

13:05 オープニング

13:10 ミニ講義

：振り返りの要素についての説明を実施。

- コンテンツとプロセスの違いについて
- 体験学習のサイクルの理解
- 自己開示とフィードバックについて

13:17 チェックイン

13:25 ミニ演習

：コンテンツとプロセスの練習（フレームワーク）

13:39 ワーク1

正解のある問題をグループで考えるワークを実施。

その後、振り返りをグループごとに実施することで、「通常パターン」の振り返りの様態を再現。

14:58 ワーク2

正解のない問題をグループで考えるワークを実施。

抽象化された内容を検討するワークであり、振り返りの際に、プロセスに着目をするトレーニングを実施。

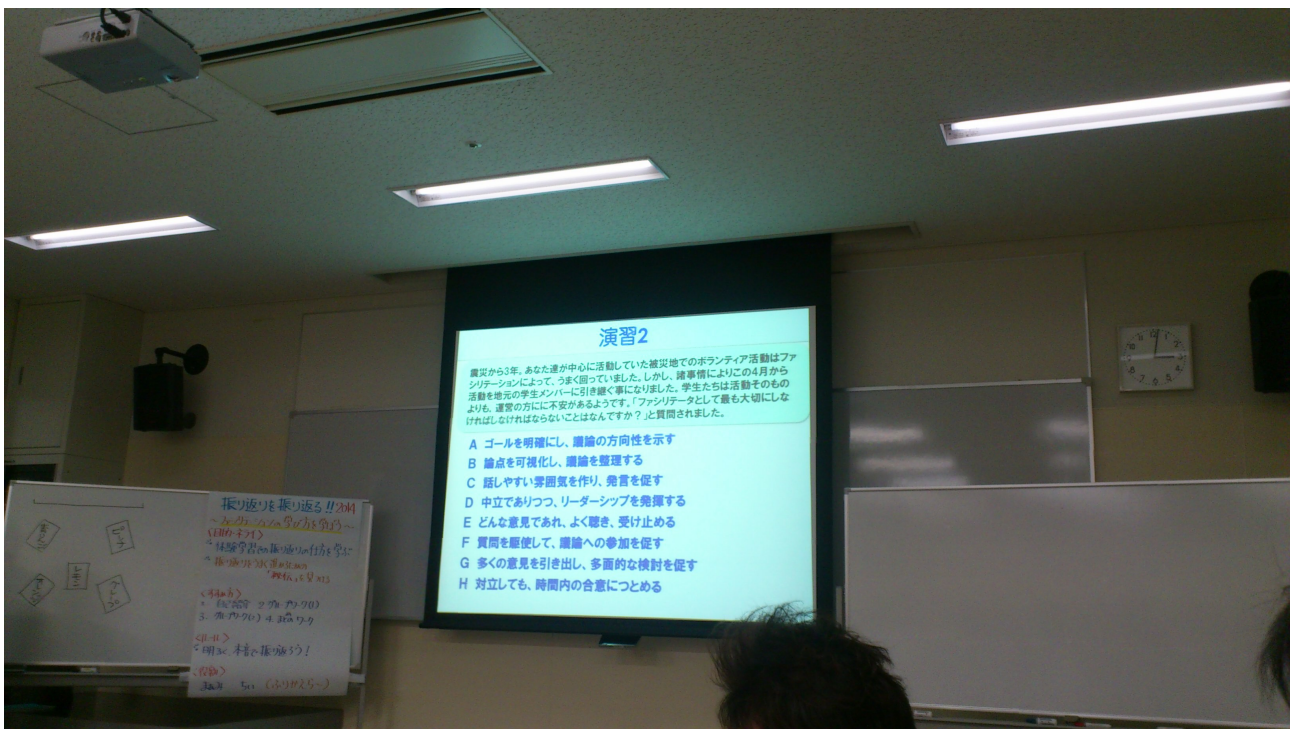
16:09 ワーク3

今回のワークを振り返る。今までの振り返り方法について考える。

16:35 クロージング、振り返りの注意点についての講義

16:41 閉会

### 3. ワークの様子 (写真とアンケート結果の抜粋)



ワーク1およびワーク2では、話題提供者から、「コンテンツとプロセス」について違いの説明を受けていても、コンテンツに着目して振り返りをする傾向が多々見られた。

(アンケート抜粋： 感じたこと・学んだことは？ )

- 会社では「ふりかえり」→「反省会」となっているのが現状です。お互いの成長を願ってより「振り返り」に近づけるよう努力します。
- 「反省」と「内省」は違う。振り返りでは内省するのであり、反省ではない。評価は不要で分析を行う。
- 今までの振り返りは「反省」にフォーカスしてましたので事実と感情を分けて分析し、概念化するというやり方を知り得たことに「ありがとう」です。
- 振り返りの考え方が変わった。「人と事柄を分けて」考える。なかなか難しいが実践したい。

- コンテンツに焦点があたっていません。プロセスを振り返るということは難しいと感じました。
- とても難しく、気持ちがもやもやしたままです。
- コンテンツとプロセスについて感情という言い方をしていたが、なぜプロセスというのかよく分からなかった。
- 普段使うプロセス（＝手段ややり方）と違うプロセス（＝感情）を話し合い、分析の結果、概念化すると何が導けるのかが、いまいちモヤッとしています。感情は個人的なものなので他人を傷つけないようにしようというのは学べますが、あまり気を使っても何も言えなくなるのかとか、かなりモヤモヤ。役に立つ例とかを紹介してもらおうと良いのかもと思いました。



観察者が、どの視点でグループ討議を観察しているかで、その後の振り返りの質が変容する場面も発生している。

（アンケート抜粋： 実践にどう活かしますか？ ）

- まずはエッセンスだけでも所属コミュニティでこっそりと忍ばせていきたいですね。
- ビジネスシーンでプロセスを振り返るのは、メンバーによって非常に難しい。ですが、趣旨を理解していただけるメンバーでトライしてみたいです。
- 事実と感情を分ける癖を日常生活でつけます。
- 今までの職場でやってきた振り返りが上手くいった時の理由がよくわかった。さらに改良出来そうです。

- 新人職員の教育・支援・指導係のサポートに活かしていきたい。
- もう少し消化しないといけない。振り返りのコツをもう少し勉強する必要がある。
- ワークに組み込む「振り返り」、チームの「振り返り」深く考えてみたいです。

#### 4. コーディネーターの感想

今まで行っている「振り返り」が本当に効果的であったかを気づくきっかけになったと思います。「場の促進」を意識しているファシリテーターであっても、「結論への反省」に執着する傾向が強く、そのため、「人と事柄」を分けて振り返るという概念に慣れない様子が多々見られました。また、選定されたワークの内容が、よりその傾向を表出化させるのに最適であったと感じました。ただ、「プロセス」の必要性とその活用法を明瞭に理解出来た参加者は、多くはないのではないかと印象が残っています。

#### 5. 話題提供者からの一言

(まあみさん)

プロセスを振り返るのは難しいことが改めてわかりました。コンテンツ中心の話になり、なかなかバランスよくプロセスを振り返ることが出来なかったチームが多かったと感じました。内省と反省の違いに戸惑いが出され、今までの振り返りは反省だったとの声が出されました。体験学習サイクルを面白いと感じて頂けた方もいて、「振り返り」の深さを体験し、興味・関心が高まったと思います。合意形成より優先順位をつけることを優先したチームが有り、順位をつけられたことに対する評価を期待していたという発言がありました。これを機会に体験学習サイクルを体験→指摘→分析→概念化と進める「振り返り」になればと感じました。泡会でも「振り返り」についての対話が続き、参加者へのインパクトがあったことを嬉しく思いました。

(ちいさん)

初めてのFAJ定例会に参加した方が自分の中で起きていたプロセスを丁寧に説明していて、そのコメントを聞いていた参加者がようやくプロセスについて腑に落ちていたということが印象的でした。プロセスとコンテンツをどのようにとらえるか、また、観察者が観察シートをどのように使うかについて苦労されていたところもあったように思います。どんな伝え方なら、より伝わりやすいか、私たちも考えるきっかけをいただきました。